

出会い、ふれ愛、再発見! 「おせの楽校」開校



西伯小学校での「国語」：漢字のなりたちを熱心に学ぶ

誰にでも子どもの頃、学校で過ごした思い出があります。「友達と遊んだ」「給食が美味しかった」「先生に叱られた」など。年齢が進むにつれ懐かしき思い出されることでしょう。そんな大人の方を対象に、もう一度学校で学び、新たな発見を通して、地域に情報発信する機会にと、今年度も「おせの楽校」が開校しました。

第1回目の5月26日は、管理棟等の改修工事を終えたばかりの西伯小学校。「辞書を使った漢字の面白さ」を、国語の上野貴司先生に、「針と糸を使って名札づくり」を家庭科の村山美佳先生に教わり、十一名の

”年齢や経験を重ねた生徒“は、熱心に耳を傾けていました。

みんなが楽しみながら給食の時間には、4年生から6年生の教室に分かれて、子どもたちと同じ机で、同じメニューをおしゃべりをしながら美味しく頂きました。

「おせの楽校」は、“生徒が授業を通じて豊かな人生観を見つめ直すことだけでなく、受け入れる学校も人生を充分に経験された方々を生徒に迎えることで、地域の力を取り入れ、指導方法の再発見をすること”も目的の一つとしています。地域と学校が連携した相互学習の場として開校しています。

おせの楽校生徒募集中!

対象：概ね50～70歳の町民
内容：毎月1回(年10回)
授業2時限、給食
場所：各小中学校(会場持ち回り)
費用：1回500円
(給食費・教材費含む)
定員：30名
申込先：教育委員会事務局
電話：64-3787

南部町ふるさと学習

副読本ができました

南部町内には、古墳や城跡、寺社や民話、一式飾りなど有形無形の宝物がたくさんあります。また、自然にも恵まれています。この度、こうした町内の歴史や文化遺産、自然、産業、政治などについて児童生徒が学習するための「ふるさと学習副読本」三部作(小学校中学年用・高学年用、中学生用)が完成しました。どなたでも図書館でご覧になれます。



南部町ふるさと学習副読本

「フーテレビデー」ポスター等

コンクールの入賞作品展示

昨年度募集した「町内一斉フーテレビデー」に関するポスター、テレビデー、絵画、標語コンクールの入賞作品をさいはく分館、あいみ分館で展示したところ、「テレビを見ずに外で遊んだほうがいいと思った」「自分もフーテレビデーをがんばってみたいと思った」「標語がよく考えてある」など、子ども達を含めてたくさんの方に感想をいただきました。この入賞作品の一部は、今年度のフーテレビデーカレンダーに掲載されています。



さいはく分館での展示